

① 農業政策について

地元磯上東地域でも、春から地域を挙げて多面的機能支払に取り組み農地保全に挑戦することになっています。多面的機能支払、中山間地域等直接支払、環境保全型農業直接支払が日本型直接支払制度として位置づけられています。

多面的機能支払制度

多面的機能を支える共同活動を支援する農地維持支払と農地・水路・農道等の地域資源の質的向上を図る共同活動を支援する資質向上支払制度

中山間地域等直接支払制度

中山間地域の不利な農業生産条件の不利を補正し、農業生産活動を維持する活動を支援する支払制度

環境保全型農業直接支払制度

自然環境の保全に資する農業生産活動の実施に伴う追加的コストを支援する支払制度

こういった制度を上手に使うことが耕作放棄地の解消に繋がるのではないかと主張しました。補助事業を活用しながら農地や水路などの維持管理を行うことによって、耕作放棄地の解消を目指すことができます。市には、集落単位や農家の集団でのこうした取組を、しっかり後押しして欲しいと訴えました。それと共に、こういった制度は大変解りにくく、市民自らが自発的に取り組むのは難しいと思います。従って、しっかり市民への周知・広報にも努めて欲しいとお願いしました。



長船美しい森の2メートル柵が完成しました。イノシシだけでなく鹿もふせぐことができる、しっかりした柵に大感激です。これで、イノシシや鹿の侵入を防ぐことができます。今後は安全で清潔な広場として活用していただけます。ぜひ、季節もよくなりましたので、お出かけください。磯上地区では、一昨年より集落柵を設置しています。今回、美しい森に柵ができたことで、油杉から美しい森にかけても集落柵で囲うことにしました。これが完成すれば、大塚～柏山～油杉～美しい森と、集落柵が1本につながるようになります。地域をまたいで、地域をあげて協力して、立ち向かうことができ、瀬戸内市の有害鳥獣対策のモデルになる事が出来たらと思います。今回も私の拙い行政報告にお付き合いいただきまして、ありがとうございます。ぜひ皆様の感想等、何かの折に声をかけてやってください。よろしくお願い致します。



目には若葉、本当にさわやかな季節になりました。今年度は春が駆け足でやってきました。この春を迎える喜びはまたひとしおですね。私は、6日目最後となる予算議会(2月議会)を終えました。今議会は、一年の予算を審議する大切な議会であるにもかかわらず、山鳥毛に始まり山鳥毛に振り回された議会となりました。今年度あと一年、大変重たい荷物を背負うことになりました。後ほど説明させていただきますので、じっくりお読みください。

新年度も課題山積です。しっかり取り組んでまいります。皆さまには本当にいつも、温かく見守っていただき、そして励ましていただき本当にありがとうございます。私はいつも、皆さまの声を市政に届けていきたい、その思いでいます。その思いは、今もこれからも変わることはありません。引き続き力強いご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

今回の私の一般質問は

- ① 農業政策について
② 学校給食について

を取り上げさせていただきました。

② 学校給食について

学校給食については、3回続けての質問となりました。前回、1食単位のコスト比較を提示して、運営の効率化を求めました。教育委員会から提示された今後の計画は、牛窓の学校給食調理場も3年後には、邑久・長船同様に民間委託となっていました。

牛窓の学校給食調理場は、施設が老朽化しているうえに、食数が少ないために、非効率な運営となっています。民間委託する前に、早期の邑久学校給食調理場との統合を目指すべきではないかというのを、強く訴えました。牛窓の食数は450食です。邑久と長船の食数の差が340食です。ちなみに、邑久と長船の民間委託費用は、ほぼ同じです。ということは、450食上乗せしても、民間委託の費用はさして変わらないということです。

ところが、牛窓を民間委託すると、現在の見積もりは3,700万円、3年間続けることによって、1億1千万の費用が無駄になります。このお金は、統合すれば使わなくてすむお金です。その後、総務文教委員会で議論を重ねてもらい、牛窓の学校給食調理場については、民間委託ではなく統合を目指す計画に変更になりました。統合目標は、5年後とされ少しでも早い統合を目指すことになりました。

また今年度、邑久学校給食調理場のプレート皿を茶碗に更新する予算が含まれています。まずプレート皿について説明させていただくと、現在給食の皿は真ん中を仕切って、ごはんとおかず、あるいは2種類のおかずをいっぺんにのせることができるようになっています。ご飯を皿にのせることについて、抵抗がある、ご飯は茶碗で食べるべきものだというのが以前から議論されてきたわけです。ところで、牛窓の食器だけが、邑久・長船と違うのをご存知でしょうか？ 邑久・長船は樹脂製なのに対して、牛窓は磁器製です。

つまり、石でできた食器ということです。なので、大変重たい食器なのです。邑久のプレート皿を茶碗にする予算があるのであれば、まず牛窓の子どもたちがもてあまして重たい食器を長船・邑久と同じ樹脂製にすべきだと訴えました。



地元【油杉お大師堂】

2019年2月28日 山陽新聞東備版に掲載されました。

目下俊子氏が質問。教育次長は、牛窓給食調理場について、「老朽化などを鑑み、牛窓は早期に統合すべきだと考えている。給食の配送距離などを考慮すれば、邑久が望ましい」と答えている。市には長船を加えた3調理場がある。牛窓は、提供数が他の調理場よりも少ないことから、1食当たりのコストは他の2倍かかっている。市は、2月策定の「運営改善に向けた基本計画」に2調理場の統合のほか、長船の調理や配送など一部業務を19年8月から民間に委託する方針を盛り込んだ。背景には、人手不足があり、邑久では18年度から導入している。

平成31年4月23日発行
発行責任者 瀬戸内市議会議員

くさか としこ

〒701-4273
瀬戸内市長船町磯上 569
TEL/FAX 0869-26-6420
携帯 TEL 090-5702-8336
ホームページ
http://www.kusaka-toshiko.jp/

【くさかとしこ】が見た瀬戸内市の行政！

それでは、行政報告をさせていただきます。

2月議会では今年度の予算を審議し、反対はありましたが、賛成多数で可決しました。当初予算を家計簿になぞらえて、わかりやすく説明したいと思います。

瀬戸内市の家計簿！
(一般会計)



必見

一般会計 183.4億円
~合併後最大規模予算 5億貯金繰入~
特別・事業会計 175.9億円

今回の予算の中で大きなものは

- ・ JR 3 駅の整備に 約6億5千万円
- ・ 有害鳥獣対策に 約3千万円
- ・ 病院駐車場整備に 約1億800万円
- ・ 長船学校給食調理場業務委託に 約3,600万円
- ・ 学校整備事業に 約6億9千万円
- ・ 裳掛子ども園駐車場整備に 約4,500万円
- ・ 公共施設の省エネ改修及び学校エアコン設置に 約4億4千万円
- ・ 庁舎再編に 約5,200万円
- ・ 新たな防災行政無線の検討に 400万円
- ・ クリーンセンター集約に 1,200万円
- ・ 火葬場整備事業に 約3,500万円
etc.....

詳細は、議会だより・広報にも記載されていますので、そちらもご覧ください。

今年の地方交付税は、
3億9千万円減額の、38.1億円
市債のうち、
財政調整基金の取り崩しが5億円

【収入】

収入項目	平成30年度	平成31年度
給料 (億円)		
基本給(市税)	48.6(27.1%)	55.1(30.0%)
諸手当(地方交付税など)	51.2(28.5%)	47.3(25.8%)
奨学金、助成金(国・県支出金)	26.4(14.7%)	25.3(13.8%)
ローンの借入金(市債)	25.5(14.2%)	22.7(12.4%)
パート収入など(その他)	27.6(15.5%)	33.0(18.0%)
合計	179.3億円	183.4億円



【支出】

支出項目	平成30年度	平成31年度
家族の医療費、保育料など(扶助費)	28.4(15.8%)	28.4(15.5%)
車や家電製品の購入費など(普通建設事業費)	27.9(15.6%)	30.3(16.5%)
食費(人件費)	29.8(16.6%)	30.4(16.6%)
光熱費、水道代、通信費、家賃など(物件費)	28.2(15.7%)	28.8(15.7%)
ローンの返済(公債費)	16.2(9.1%)	17.8(9.7%)
子どもへの仕送り(繰出金)	16.5(9.2%)	16.8(9.2%)
その他(補助費など、その他)	32.3(18.0%)	30.9(16.8%)
合計	179.3億円	183.4億円



～ 山鳥毛里帰りプロジェクト 続行!! ～

くさかとしこの主張！

私は国宝山鳥毛の購入に関しては、決して反対ではありません。長船の人間として、できることなら欲しいと思いましたが、随分と協力もさせていただきました。

しかし、これ以上こんな事を続けることは反対です。今年何人もの優秀な職員が、定年を待たずして辞めてしまいました。刀は財産かもしれませんが、人材の方が私は瀬戸内市に必要な財産だと思います。

今回、私のところにも本当にたくさんの賛成や反対の電話がかかってきました。そして、ごく身近なところからもかなりの圧力を受けました。議会にも、賛成の人々・反対の人々が毎日押しかけ、議場ものものしい雰囲気にも包まれていました。

市を二分して、議会を二分して、こんなことをこれ以上続けることは、決して瀬戸内市のためにはならないと判断したので、私は反対しました。

山鳥毛については、今議会での経緯および、議論の様子を、細かく議会だよりに載せました。そちらを確認してください。

たまかについて、平成30年度にクラウドファンディング・ふるさと納税等で資金調達できたのが、経費を除いて2億2千万円強。5億円の刀剣の購入および、備前長船名刀博物館の改修費1億円のために、必要な残りの資金が3億7千万円強。その資金を引き続きもう一年、資金調達することを今議会でも認めることになりました。

ただ、今年度ももう一年挑戦してお金が集まらなかった場合には、潔く諦めるとの市長の発言もありました。今年度もしっかりとチェックしていきます。

山鳥毛の3議案も賛否が分かれましたが、もう一つ賛否が分かれたのが、請願です。

75歳以上の後期高齢者の医療費負担を原則1割のまま継続を求める意見書を国へ提出するものでした。

賛否は面白い程、山鳥毛の賛否と反対となりました。私の隣の議席の議員は、山鳥毛には賛成で、請願には反対でした。どうして、医療費負担の1割継続に反対か尋ねたところ、『根拠のない予算だから』という返事でした。5億もの根拠のない予算に賛成して、どうして医療費負担の継続には根拠を求めるのかわかりません。

また、『未来のある子どもたちに負担を強いることはできない』とも。これは、国に意見書を提出するかどうかであって、根拠や負担は国で考えてもらわなければいけないことではないでしょうか？

高齢者の負担増は、介護に携わる子や孫等の生活をも圧迫することになり、全世代に多大な影響を与えることになるのではないのでしょうか？

今の瀬戸内市議会が本当に正常に機能しているのかどうか、心配になります。市長のために議案を通さなければいけないか、議会の中の派閥争いが賛否に影響したり。

こんなことではいけないのではないのでしょうか!!

山鳥毛関連の3議案とは

・平成30年度に企業版ふるさと納税で資金調達したお金を積み立てる受け皿となる山鳥毛里帰り基金条例の制定案

・平成30年度のクラウドファンディング目標額が達成しなかったため、寄附金等10億円を減額補正し、企業版ふるさと納税で資金調達したお金を、山鳥毛里帰り基金に積み立てる補正予算案

・平成30年度に資金調達した経費を除いた約2億2千万円の残りの資金(企業版ふるさと納税3億円および、個人版ふるさと納税等約1億3千万円)をクラウドファンディング・ふるさと納税で調達し、5億円の山鳥毛の購入および、1億円の備前長船刀剣博物館を改修する、平成31年度の補正予算案

平成31年第1回(2月)定例会 賛否の公表

議案名	議決年月日	採決結果	賛否の公表												賛成	反対				
			市長	副市長	小笠原	石原	河本	高橋	山口	栗野	小野	三原	津田	日下			藤原			
議案第18号 平成31年度瀬戸内市一般会計予算	H31.3.20	原案可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	2
議案第33号 瀬戸内市山鳥毛里帰り基金条例の制定について	H31.3.20	原案可決	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	8
議案第37号 平成30年度瀬戸内市一般会計補正予算(第12号)	H31.3.20	原案可決	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	8
議案第38号 平成31年度一般会計補正予算(第1号)	H31.3.20	原案可決	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	8
議案第41号 「(後援会等)の委託金負担の見直しにあたり、原則として負担の軽減を求める」議案	H31.3.20	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	7

○=賛成 ●=反対 欠=欠席 ー=議長(議長は採決に加わりません)